

ドンペリドンドライシロップ1%「タイヨー」

〈換算表〉投与量はドライシロップとしての量(g)を示す

[6歳未満の場合]

÷3

年齢 目安 (才)	体重 (kg)	1回投与量 (g)	1日投与量 (g)
1	10	0.33 ~ 0.67	1.00 ~ 2.00
	11	0.37 ~ 0.73	1.10 ~ 2.20
2	12	0.40 ~ 0.80	1.20 ~ 2.40
	13	0.43 ~ 0.87	1.30 ~ 2.60
3	14	0.47 ~ 0.93	1.40 ~ 2.80
	15	0.50 ~ 1.00	1.50 ~ 3.00
4	16	0.53 ~ 1.00	1.60 ~ 3.00
	17	0.57 ~ 1.00	1.70 ~ 3.00
5	18	0.60 ~ 1.00	1.80 ~ 3.00
	19	0.63 ~ 1.00	1.90 ~ 3.00
	20	0.67 ~ 1.00	2.00 ~ 3.00
	21	0.70 ~ 1.00	2.10 ~ 3.00
	22	0.73 ~ 1.00	2.20 ~ 3.00

[6歳以上の場合]

÷3

年齢 目安 (才)	体重 (kg)	1回投与量 (g)	1日投与量 (g)
6	18	0.60	1.80
	19	0.63	1.90
	20	0.67	2.00
	21	0.70	2.10
	22	0.73	2.20
	23	0.77	2.30
7	24	0.80	2.40
	25	0.83	2.50
8	26	0.87	2.60
	27	0.90	2.70
	28	0.93	2.80
	29	0.97	2.90
	30以上	1.00	3.00

〈成分分量〉 1g中:ドンペリドン 10mg

〈性状〉 白色の細粒

〈効能効果〉 下記疾患および薬剤投与時の消化器症状(悪心、嘔吐、食欲不振、腹部膨満、腹痛)
 小児:○周期性嘔吐症、乳幼児下痢症、上気道感染症
 ○抗悪性腫瘍剤投与時

〈用法用量〉 小児:通常、ドンペリドンとして1日1.0~2.0mg/kgを用時水で懸濁し、1日3回食前に分けて経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。ただし、1日投与量はドンペリドンとして30mgを超えないこと。
 また、6才以上の場合にはドンペリドンとして1日最高用量は1.0mg/kgを限度とすること。

※小児への投与に関する注意

小児において錐体外路症状、意識障害、痙攣が発現することがあるため、特に1才以下の乳児には用量に注意し、3才以下の乳幼児には7日以上連用を避けること。
 また、脱水状態、発熱時等では特に投与後の患者の状態に注意すること。